

20(0.8.29(日)

徳島新聞

肝臓がん治療法

専門医らが解説

徳島市で公開講座

徳島市民公開講座「肝臓がんなんかに負けない」が28日、徳島市内のあわぎんホールであり、専門医師ら4人が治療法などについて講演し、約200人が耳を傾けた。県立中央病院消化器科

の矢野充保部長は、肝がんの内科的治療を紹介。電磁波でがん部分を焼く方法や、昨年5月から使用可能になった新しいがん治療薬「分子標的治療薬」について説明した。

徳島大学病院消化器・移植外科の居村曉助教は、患者への負担が少ない腹腔鏡手術を、映像を交えて解説した。肝炎が治った後に再発したり、B、C型肝炎でなくても肝がんになったりした事例を挙げ、「肝炎が治っても安心はできない。定期的に検査を受けてほしい」と注意を促した。